



新刊案内



『人生のレールを外れる衝動のみつけた』		
谷川 嘉浩/著	筑摩書房	T159/タヨ
『13歳からの世界地図 世界のしくみが楽しくわかる』		
井田 仁康/編著	幻冬舎	T290/イヨ
『栄養士・管理栄養士ってこんな仕事しています 13人のリアルストーリー』		
油井 陽 他/著	女子栄養大学出版部	T366/エイ
『つくる仕事の日 商品企画・開発・生産』		
西山 昭彦/監修	保育社	T366/カイ
『本当に危ない闇バイトの話 あの時こうしなければ…』		
廣末 登・芳賀 恒人/監修	金の星社	T368/ホン
『どうしても僕は東京藝大に入りたかった 3度目の挑戦でつかんだ合格までの記録』		
家原 流太/著	ホビー・ジャパン	T376/イリ
『データリテラシー入門 日本の課題を読み解くスキル』		
友原 章典/著	岩波書店	T417/トア
『星に名前をつけるなら』		
出雲 晶子/著	オーム社	T443/イア
『教えて!クラゲのほんと 世界一のクラゲ水族館が答える100の質問』		
鶴岡市立加茂水族館/編著	緑書房	T483/オン
『みんなで描こう!黒板アート 学校行事編』		
すずき らな/著	誠文堂新光社	T725/スラ
『香君』 3		
上橋 菜穂子/著	文藝春秋	TB/ウナ
『私のマリア』		
東雲 めめ子/著	集英社	TB/シメ



ティーンズのココロ通信

令和6年12月1日 発行

Eメール : info@lib-yama.jp

HP : <https://www.lib-yama.jp>

山口市立中央図書館

252 号

〒753-0075 山口市中園町7-7

TEL : 083-901-1040

FAX : 083-901-1144



クリスマス



今月のテーマは「クリスマス」です。

早いもので今年もあと残りわずか。あなたはどんな 1 年を過ごしましたか？

今月のココロ通信では、クリスマスにまつわる素敵な本を紹介しています。

寒い冬の日には、心温まるお話がぴったりですよ。



●『世界で一番の贈りもの』

マイケル・モーパーゴ／作 評論社 K／モマ

クリスマス・イブに古い机の中から見つかった手紙。それはある兵士が戦場から妻に宛てた最後の手紙だった。1914年12月25日のクリスマス休戦。戦争の最中に起きたその束の間の平和を体験した喜びを妻に知らせる手紙だ。手紙の中で夫は妻に言う。「この戦争を終わらせる方法が解ったよ。サッカーの試合で、勝負を決めればいい。サッカーなら、だれも死なずにすむ。親を失う子もない。夫を失う妻もない。」クリスマスシーズンの今、平和を考える本。(H.S)

●『うちの執事が言うことには〔6〕』

高里 椎奈／著 KADOKAWA TB／タシ

父親の突然の引退により、18 歳という若さで名門烏丸家の当主になった花穎。新任執事の衣更月とは、いがみ合いながらも一緒に多くの事件を解決し、少しずつ絆を深めています。

当主になって初めてのクリスマス。花穎は知人とクリスマスコンサートに行くことになりました。主人たちがコンサートを楽しむ中、裏で事件が起こります。コンサートが終わるまでに、付き添いで来た使用人たちだけで事件を解決しなければいけなくなり…。(S.E)

●『思いがけない贈り物』

エヴァ・ヘラー／作 講談社 TF／ヘエ

クリスマス・イブの夜、仕事を終えたサンタクロースの手もとに残ったひとつの人形。だれのプレゼントを配り忘れたのだろうとあわてたサンタクロースは、パソコンで調べてみますがわかりません。人形をひとつ届けるだけならばそりはいらないとタクシーに乗って、子どもたちの家を訪ね歩きます。しかし、なかなかプレゼントを渡す相手にめぐりあえず、疲れて困惑するサンタクロース。ミヒャエル・ゾーブアの挿絵が添えられたひと味違うクリスマスの一冊。(E.T)

●『しあわせなモミの木』

シャーロット・ゾロトウ／文 童話屋 K／ソシ

落ち着いた雰囲気の良い通りに、ある日引っ越してきたのはクロケットさん。家の窓を磨き階段を掃除する彼を見て住人たちは彼を変わり者だと思えます。そんな彼が家の前に枯れかけたモミの木を植えました。毎日水やりをし、ワラを敷き、大切に育てます。モミの木はだんだん大きくなり、クロケットさんが木の周りにパンくずをまくと、小鳥たちが来て一日中歌うようになりました。そして、ある年のクリスマスの日…。木と人間の美しい物語。(H.S)

●『12 月 24 日 クリスマス・イブの日に』

黒井 健／作 白泉社 T726／クケ

クリスマス・イブ当日、サンタさんが私たちのところへ来るまでを描いた絵本です。朝起きて、朝ごはんを食べて、トナカイたちにも朝ごはんをあげて、少し休憩して…きっと毎日のルーティーンなのでしょうが、ところどころに「今日は特別な日」という、サンタさんの気持ちが感じられて、なんだか嬉しくなってきます。この本の表紙には「ギフト版」と書かれています。大切な人にプレゼントしたくなる、優しい気持ちになれる絵本です。(S.E)

●『サンタクロースっているんでしょうか？』

フランシス＝P＝チャーチ／著 偕成社 T386／チフ

ずっとずっと昔、アメリカ合衆国で本当にあった話です。友だちにサンタクロースはいないといわれた 8 歳の女の子バージニア。お父さんにこの答えを求めたところ、「サン新聞社に問い合わせたら」といわれ手紙を 1 通出しました。「サンタクロースってほんとうにいるんでしょうか？」新聞社はこの質問に真摯に向き合い、愛情をこめて味わい深い返事を社説として出しました。見えないものを信じることの大切さが心にしみわたります。(E.T)